

1	熱・痛み（鎮痛・解熱・抗炎症薬・片頭痛薬）
処方薬	アスピリン インテパン（インドメタシン） SG配合顆粒 カロナール（アセトアミノフェン） イミグラン（スマトリブタンコハク酸塩） セレコックス錠（セレコキシブ） ブルフェン（イブプロフェン） ボルタレン（シクロフェナクナトリウム） リリカカプセル（プレガバリン） ロキソニン（ロキソプロフェンナトリウム水和物）
市販薬	ネオパスタノーゲン バファリンA フェリア ボルタレン〔ACローション、EXテープ〕 ロキソニン〔S、Sプラス〕
2	筋肉の痛み・こわばり（中枢性筋弛緩薬）
処方薬	ミオナール（エペリゾン塩酸塩） テルネリン（チザニジン塩酸塩）
3	かぜ（総合感冒薬）
処方薬	PL配合顆粒 ベレックス配合顆粒
市販薬	新エスタック「W」 新ルルエース パブロンSゴールドW〔錠、微粒〕
注意	・市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多く、製品名全体が 完全に一致 することを確認する。 ・かぜの特効薬はないので、症状にあわせて 1 、 4 、 14 などの薬を選んで使用した方が有効な場合もある。
4	せき・たん（鎮咳去痰薬）
処方薬	アストミン（ジメモルフアンリン酸塩） フスタゾール（クロベラスチン） ムコソルバン（アンブロキシオール塩酸塩） ムコダイン（L-カルボシステイン） メジコン（デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物）
市販薬	コンタックせき止めST タイムコール去たん錠 ストナ去たんカプセル
注意	市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。
5	じんましん・アレルギー・花粉症（アレルギー用薬）
処方薬	アレグラ（フェキソフェナジン塩酸塩） アレジオン（エピナスチン塩酸塩） アレロック（オロパタジン塩酸塩） インタール（クロモグリク酸ナトリウム） ザジテン（ケトチフェンフマル酸塩） ザイザル（レボセチリジン塩酸塩） ジルテック（セチリジン塩酸塩） ポララミン（d-クロルフェニラミンマレイン酸塩）
市販薬	アレグラFX コンタック600ファースト スカイナーAL錠 アイリスAGガード
注意	市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

6	胃炎・胃潰瘍
処方薬	アルサルミン（スクラルファート水和物） ガスター（ファモチジン） ガストローム顆粒（エカベトナトリウム水和物） プロテカジン（ラフチジン） セルベックス（テブレノン） タケキャブ錠（ボノブラザン） ネキシウムカプセル（エソメプラゾール） バリエット錠（ラベプラゾールナトリウム） マーロックス懸濁用配合顆粒（乾燥水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム） ムコスタ（レバミピド）
市販薬	アシンノンZ ガスター10
注意	市販薬には禁止物質（ストリキニーネ）が含まれているものがある。
7	腹痛（鎮痙・鎮痛薬）
処方薬	ブスコパン錠（ブチルスコポラミン臭化物）
市販薬	コランチルA顆粒 サクロンQ
8	消化不良・食べ過ぎ（消化酵素配合薬）
処方薬	タフマックE ペリチーム配合顆粒 ポリトーゼ
市販薬	バンラクミン錠（＊指定医薬部外品） エビオス錠（＊指定医薬部外品） バンシロンG
9	便秘
処方薬	酸化マグネシウム 新レシカルボン坐剤（炭酸水素ナトリウム・無水リン酸二水素ナトリウム） テレミンソフト坐薬（ビスコジル） プルゼニド錠（センノシドA・B） ラキソベロン（ピコスルファートナトリウム水和物） アミティーザカプセル（ルビプロストン）
市販薬	コーラック
10	整腸薬・下痢止め
処方薬	タンナルビン（タンニン酸アルブミン） ビオフェルミンR（耐性乳酸菌） ミヤBM（酪酸菌） ラックビー微粒N（ビフィズス菌） ロベミン（ロペラミド塩酸塩）
市販薬	ストopp下痢止めEX セイロガン糖衣A
11	吐き気・乗り物酔い
処方薬	トラベルミン配合錠（ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ジプロフィリン） ナウゼリン（ドンペリドン） プリンベラン（メトクロプラミド）
市販薬	センバア マイトラベル錠
12	不眠・イライラ（催眠鎮静薬）
処方薬	アモバン錠（ゾピクロン） セルシン（ジアゼパム） ハルシオン錠（トリアゾラム） ベルソムラ錠（スボレキサント）

	マイスリー錠（ゾルピデム酒石酸塩） ロゼレム錠（ラメルテオン）
市販薬	ドリエル
注意	催眠鎮静薬の海外への持ち出し、持ち込みには厳重な規制がある。
13	痔疾用薬
処方薬	サーカネッテン配合錠 ヘモクロンカプセル（トリベノシド） ポストリザン（大腸菌死菌浮遊液）
市販薬	内服ボラギノールEP ボラギノールM〔軟膏、坐剤〕
注意	経直腸による糖質コルチコイドの使用（注入軟膏および坐剤を含む）は禁止されるが、肛門に塗布する糖質コルチコイドを含む痔疾患治療の軟膏は、使用可能。
14	鼻づまり（耳鼻用薬）
処方薬	インタール点鼻液（クロモグリク酸ナトリウム） ザジテン点鼻液（ケトチフェンフマル酸塩） ブリビナ液（ナファゾリン硝酸塩）
市販薬	エージーアレルカットEX パブロン点鼻クイック
注意	・糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、耳・鼻の疾患に対する局所使用は可能。 ・血管収縮薬であるナファゾリンなどの点鼻は、用法・用量に従う限り使用可能。
15	目薬（眼科用薬）
処方薬	抗菌薬・ビタミン類・人口涙液の処方薬は使用可能。
感染症	
市販薬	ティアーレ抗菌目薬 ロート抗菌目薬EX
ビタミン類・疲れ目	
市販薬	サンテ40プラス ロートゴールド40
人工涙液・ドライアイ	
市販薬	ソフトサンティア スマイルコンタクトビュア
洗眼薬	
市販薬	アイボンd フレッシュアイAG
注意	・糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、目の疾患に対する局所使用は可能。
16	にきび（尋常性ざ瘡治療薬）
処方薬	ディフェリンゲル（アダパレン） ベピオゲル（過酸化ベンゾイル） スタデルム（イブプロフェンピコノール）
市販薬	エバユースにきび薬 オロナインH軟膏 テラマイシン軟膏a
17	うがい薬・口腔内殺菌薬・口内炎薬
処方薬	アフタッチ口腔用貼付剤（トリアムシノロンアセトニド） 含嗽用ハチアズレ顆粒（アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・炭酸水素ナトリウム） デキササルチン口腔用軟膏（デキサメタゾン） SPトローチ（デカリニウム塩化物）
市販薬	浅田飴のどクールスプレー ベレックストローチ
注意	糖質コルチコイドの全身的使用は禁止だが、口腔内の疾患に対する局所使用は可能。

18 抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬

- 処方薬** イトリゾール（イトラコナゾール）
イナビル吸入粉末剤（ラニナミビルオクタン酸エステル水和物）
クラビット（レボフロキサシン水和物）
クラリス（クラリスロマイシン）
ケフラー（セファクロル）
サワシリン（アモキシシリン水和物）
ジスロマック（アジスロマイシン水和物）
ゾピラックス（アシクロビル）
タミフル（オセルタミビルリン酸塩）
バルトレックス（バラシクロビル塩酸塩）
ミノマイシン（ミノサイクリン塩酸塩）
リレンザ（ザナミビル水和物）
- 市販薬** メディトリート
エンペシドL

19 ビタミン・滋養強壮

- ・**ビタミン剤**：各種ビタミンは禁止されていない。しかし、ビタミン類に種々の強壮薬などを配合した製剤、とくに外国製品には禁止物質を含むものが多い。医薬品の場合には内容を明記してあるが、医薬品以外は使用しないほうが賢明である。
- ・**滋養強壮保健薬**：医薬品にも男性ホルモンやストリキニーネなどの禁止物質やモニター物質を含むものがある。漢方を含むものや外国製品も組成不明が多く、禁止物質陽性となることが多い。使用しないほうが安全。

20 鉄欠乏性貧血（鉄剤）

- 処方薬** フェルムカプセル（フマル酸第一鉄）
フェロ・グラデュメット錠（硫酸鉄）
フェロミア（クエン酸第一鉄ナトリウム）
- 市販薬** ファイチ
マステゲン錠
ヘマニック

21 気管支炎・気管支喘息

- 処方薬** アイロミールエアゾール（サルブタモール硫酸塩）
アズマネックスツイストヘラー（モメタゾンフランカルボン酸エステル）
アドエア（サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル）
アトロベントエロゾル（イプラトロピウム臭化物水和物）
オーキシスタービューヘラー（ホルモテロールフマル酸塩水和物）
オノン（برانلカスト水和物）
オルベスコインヘラー（シクレソニド）
キプレス（モンテルカストナトリウム）
キュパールエアゾール（ベクロメタゾンプロピオン酸エステル）
サルタノールインヘラー（サルブタモール硫酸塩）
シムビコート タービューヘラー
（ホルモテロールフマル酸塩水和物、ブデソニド）
シングレア（モンテルカストナトリウム）
セレベント（サルメテロールキシナホ酸塩）
テオドル（テオフィリン）
バルミコート（ブデソニド）
フルタイド（フルチカゾンプロピオン酸エステル）
フルティフォームエアゾール
（ホルモテロールフマル酸塩水和物、フルチカゾンプロピオン酸エステル）
ベネトリン吸入液（サルブタモール硫酸塩）
- 注意** ・ベータ2作用薬は常時禁止物質であるが、サルブタモール、ホルモテロール、サルメテロールの吸入は添付文書の用法・用量に従う限り使用可能。
・糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、喘息の疾患に対する吸入による局所使用は可能。

22 高血圧

- 処方薬** アジルバ錠（アジルサルタン）
アダラート（ニフェジピン）
アムロジン（アムロジピンベシル酸塩）
オルメテックOD錠（オルメサルタンメドキシミル）
ニューロタン錠（ロサルタンカリウム）
ノルバスク（アムロジピンベシル酸塩）
プロブレス錠（カンデサルタンシレキセチル）
- 注意** ・利尿薬との配合薬は禁止。
・ベータ遮断薬は競技種目により禁止。

23 痛風・高尿酸血症

- 処方薬** ウラリット（クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物）
コルヒチン錠（コルヒチン）
ザイロリック錠（アロプリノール）
ユリノーム錠（ベンズプロマロン）
フェブリク錠（フェブキソスタット）
- 注意** プロベネシドは禁止。

24 糖尿病

- 処方薬** 経口血糖降下薬（SGLT2阻害薬を含む）およびGLP1受容体作動薬は使用可能。
- 注意** インスリンは禁止。

25 ワクチン

- 処方薬** インフルエンザHAワクチン
サーバリックス（子宮頸がん予防ワクチン）

26 月経関連（女性ホルモン薬）

- 処方薬** トリキュラー錠21、28（エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル）
マーベロン21、28（エチニルエストラジオール・デノゲストレル）
ルナベル配合錠LD、ULD（エチニルエストラジオール・ノルエチステロン）
ヤーズ配合錠（エチニルエストラジオール・ドロスピレノン）
ノルレボ錠（レボノルゲストレル）
デュファストン錠（ジドロゲステロン）
プラノバール配合錠（ノルゲストレン・エチニルエストラジオール）
- 注意** 月経周期の変更に用いられる混合ホルモンは使用可能。

27 消毒薬

- 処方薬** イソジン（ポビドンヨード）
オスパン（ベンザルコニウム塩化物）
ヒビデン（クロルヘキシジングルコン酸塩）
- 市販薬** オキシドール
マキロンS

本リーフレットは日本体育協会のホームページよりダウンロードできます。アンチ・ドーピング情報と併せてご確認ください。
HPはこちら⇒<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid/537/Default.aspx>



公益財団法人 日本体育協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
TEL.03-3481-2240



2017年版（有効期間：2017年1月1日～2017年12月31日）

- 本リストには、競技会時を含めいつでも安心して使用できる薬をあげました（競技会外検査では競技会検査禁止物質の一部を検査）。
- 禁止物質でも申請手続きにより「治療使用特例（TUE）」を受けられる場合があります。また使用量が少なく尿中濃度が低ければ使える薬などありますが、そのような使用条件に制限がある薬はあげておりません。
 - ＊特定競技において使用が禁止される薬もあります。各競技の禁止物質リストを参照し注意してください。
- 本リストは例示であり、他にも多くの使用可能な医薬品があります。
- ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先発医薬品と同等の有効成分を含有しておりますので、基本的には使用可能です。
- 本リストは、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の禁止表国際基準（1月1日発効）に伴い、毎年改定されます。

〈凡 例〉

処方薬：医師の処方が必要な薬

市販薬：処方せんなしで買える薬
（ ）内は成分名

市販薬は名前全体が**完全に一致**することを確かめてください。ほとんど同じ名前でも頭に「新」が、終わりに「錠」や「会社名」あるいは「アルファベット」がついているだけで組成が異なる場合があります。
複数製品は[]内を接尾語“、”で区切って示しています。

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業